令和5年

健康福祉委員会

12月20日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和5年12月20日

午後1時20分 開会

午後1時41分 閉会

1. 出席委員

委員長	堀内 ちほ	副委員長	ふじえ 真理子
委員	青木 けんじ	委員	浅井 たかお
委員	近藤 ひろひで	委員	三浦 桂司
委員	一色 美智子		
議長	鵜飼 貞雄		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井 俊一	議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎二
庶務担当係長	福田 悦子		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
行政経営部長	小串 真美	健康福祉部長	中村 泰正
財政課長	浦 倫彰	地域福祉課長	小野寺 良夫
子育て支援課長	松村 清子		

5. 傍聴議員

岡島 ゆみこ	鈴木 智和	中堀 りゅういち	こんどう のぶお
服部 龍一	いとう ひろし	武谷 としお	郷右近 修
林 ゆきひろ	毛 受明宏	月岡 修一	清水 義昭

6. 傍聴者

3名

午後1時20分開会

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は補正予算1議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（鵜飼貞雄議員） 皆様、お疲れさまです。

慎重審議、よろしくをお願いします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第96号 令和5年度豊明市一般会計補正予算（第10号）についてを議題といたします。

本案件について理事者の説明を求めます。

松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分から御説明いたします。
補正予算書の6ページ、7ページを御覧ください。

上段、3款2項1目 児童福祉総務費、3 児童福祉事務事業 1億892万7,000円の増額となっております。

説明欄を御覧ください。

小中学生応援給付金 1億800万円は、成長期にある小中学生のお子さんがある御家庭を対象に、食費等の物価高騰による経済的負担を軽減することを目的に、児童1人当たり2万円、5,400人分の費用を計上させていただくものです。

そのほかに、その事務費として必要な印刷製本費、通信運搬費をそれぞれ12万9,000円、79万8,000円増額させていただいております。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 続きまして、地域福祉課所管分につきまして御説明をさせていただきます。

資料は、同じ6ページ、7ページとなります。

6ページ、下段、3款3項2目、1 扶助事業の説明欄、手数料66万4,000円は、このたびの給付金の口座振替に係る手数料となります。

次の電算関係委託料771万7,000円は、住民税非課税世帯の対象者を抽出することに加えて、対象者に案内通知ができるように対応するための電算システムに要する経費となります。

次の非課税世帯等臨時特別給付金は、このたびの政府において決定された物価高騰対策として取り組む方針に基づいて、物価高騰に切実に苦しんでいる住民税非課税世帯などの方々を守るため、1世帯当たり7万円の給付金を支給するための経費であります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 続いて、財政課所管分について御説明申し上げます。

4ページ、5ページをお願いいたします。

歳入の19款 繰越金の前年度繰越金 5億2,330万8,000円は、このたびの補正予算の一般財源となるものでございます。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 7ページ、上段、児童福祉事務事業。小学校1年から中学3年まで2万円支給って聞いたんですけど、これ、プッシュ型ですんで、下にあるように電算関係委託料は、市内全児童生徒の人数が把握できているのでかからないという意味でよろしいですか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 委員のおっしゃるとおりでございます、小中学生の給付金につきましては、所得制限もございませんので電算事務委託料は発生しません。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 同じく、この物価高騰のところ、小中学生のところ。政府は、18歳以下の子ども1人に対して5万円の支給や低所得者は10万円の支給を決めていますけれども、今回の事業との兼ね合いは、どのように考えていますか。兼ね合いというのは、ダブったりすることはないかということです。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁できますか。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 対象としては重複すると思っております。本市としましては、成長期にある食べ盛り、伸び盛りのお子さんにつきましては、特に食費ですとか衣類に係る衣料費などの費用が家計負担になっているかと思っておりますので、その分について、今回計上させていただいております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 手続の方法について、ちょっと……。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） マイク、お願いします。

○一色美智子委員 手続の方法について、ちょっと載ってないもんですから、お聞かせください。

これ、前回の8月のときに、たしか同じものを3万円受給したと思うんですけども、今回、7万円ってということで、これ、手続は要るのでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 既に3万円の給付金を支給しているところでありますので、ほぼほぼ口座というところは把握をしているところでございます。

ただ、基準日が12月1日でございますので、新たに住民になったという方もいらっしゃると思います。基本的には、同一で対象となるケースにつきましては、ちょっと名称、どういう案内通知するかというところは決めあぐんでおりますけども、支給要件確認書として、口座変更に変更がなければ、そのままプッシュ型で振込をさせていただこうと考えてるところでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございせんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 同じところで。前回というか今年だったかな、3万円ですね、3万円の給付で非課税世帯は何件あって、生活急変は何件の実績あったのかと、今回、これ、7万円ですね、非課税世帯は何件で生活急変は何件を見込んでいるのか。何か5,600とか5,800とか数字がちょっと違ったんで、ちょっとそこら辺の数字を教えてください。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 3万円のときの状況でございますけども、住民税非課税世帯としては5,541世帯という実績でございました。あわせて、家計急変世帯というところの実績については、64世帯、合わせて5,605世帯という実績でございます。

今回の補正予算の内容でございますが、住民税非課税世帯については、およそ5,600世帯を見込んでおります。家計急変世帯については200世帯ほどを見込んでおります。

なぜ200世帯かというところにつきましては、昨年度実施をいたしました家計急変世帯がおよそそのぐらいの数字だったものですから、合わせて5,800という数字を見込んだところでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 関連で。

昨年度、そんな家計急変っていうのは、そんなに多くなかった……。200世帯あったというところでよろしいですか。五、六十だというような積算か何かだと聞いたんですが。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 本年度実施を、既に実施をした分については、家計急変は64という実績でございまして、昨年度は家計急変は、正確な数字を申し上げますと、223

世帯というのが実績値でございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 それでは、今の電算関係のところなんですけど、7ページの下段のところ、これ、この771万7,000円の中の450万円は、システム改修ということで先ほど御説明がありましたけれども、これは何人で、どれだけの時間をかけて取り組んでいるのでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 具体的にはシステムエンジニア何人でというところは情報としてはつかんでいないところではございますけども、改めてこの電算関係委託料の内容について御説明を申し上げれば、システム構築として、基準日を令和5年12月1日として住民基本台帳に記録のある世帯を初期データとして作成をすること、住民税均等割が非課税となっている住民をそもそも抽出をして非課税者としてテーブルを作成すると、また、前回、給付金の支給を受けた世帯についてプッシュ型通知の対象者として作成をすると、こういったものがシステム改修の大きな内容となってございます。これらについてがおおよそ500万弱かかるということでございまして、これが高いか安いかということにつきましては、近隣市の状況を確認すると、やはり同じような経費がかかっているということについては確認をさせていただいたところでございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 これの契約ですけど、これは随意契約っていうものでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 現在のシステムを使っている社と随意契約による契約方法によりたいと考えております。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 生活扶助のほうですね。ちょっと聞いた話で、間違ってたらちょっと指摘していただきたいんですが、名古屋市は、生活保護世帯に対して、何か、年内から始めるとちょっと聞き及んでおりますけど、これ、間違い……。近隣市町の状況を把握していたらお願いしたいのと、そのような体制が取れなかったのかというのをちょっと……。違

いますかね。ちょっと間違っていたら指摘してください。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今、三浦委員さんからお話がありましたとおり、名古屋市のホームページを確認したところ、生活保護世帯については年内給付ということについては確認をしております。

しかしながら、名古屋以外の市におきましては、私どもと同じような対応をしているというところではございました。

説明は以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 以上で……。

浅井委員。

（進行じゃないの声あり）

（はっきり手を挙げないかんねの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 終わりかと思って。

○浅井たかお委員 家計急変についての質問です。この同じような、これまで同じような事業をやっていたと思うんですけど、今までどのような広報をしていたのでしょうか。ホームページっていうことは先ほどお聞きしたんですけど、ほかにちょっと何があったか、ちょっとメモをして取れなかったっていうことがあって、お聞きします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これまでも、やはり周知の方法の1つとしては、ホームページの活用、あるいは、広報紙の活用といったことであろうかというふうに思っております。

それに加えて、現実的に生活にお困りの方というのは窓口に多くいらっしゃいます。そういった方については、この制度内容についてしっかりと丁寧に御説明をする中で、この制度については周知をしまいたいというふうに考えているところでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 同じくこの家計急変ですけど、この家計急変っていうのは私でもちょっと分かりにくかったんですけど、一般の市民の方に、このモデルケースを示して案内をしているのでしょうか。モデルケースっていうのは、要は、家族構成によって、その人数に

よって、その非課税のラインというかそれが異なると思うんですね。それを分かりやすく例題を挙げて説明してあげたほうが分かると思うんですけど、そういったことは、していますでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） なかなか、その保険料控除であったりとか、モデルケースを一概に示すということは非常に難しいというふうに考えております。

この家計急変というのは具体的にどういったものなのかということをお申し上げれば、令和5年1月以降の収入が減少した任意の1か月分を選定し、その月の収入に12を乗じて1年間の収入見込みを算定をしております。その収入見込額が非課税世帯相当の水準以下であった場合については家計急変ということになりますので、この内容をしっかりと御説明をし案内をしていきたいというふうに思っております。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 私は、ちょっと分かりにくかったので、また、それをもうちょっと分かりやすく、何か……。

（聞きに行けばいいじゃんの声あり）

○浅井たかお委員 そうですね……。これも、市民の方に分かりやすくもうちょっと何か図とかそういったもので、大ざっぱにできればいいんですけど、分かりました。

あと、この3月に支払いがありますね……。ちよつとごめんなさいよ……。市民税非課税世帯等への臨時特別給付金についてっていう、この12月13日に頂いた紙にあるんですけど、これを見ると、対象者が、プッシュ型で支給すると思うんですけど、1月に案内を発送して、この時点で抽出は終わっていると思うんですけども、なぜ振り込むまで2か月かかってしまうのか、御説明をお願いします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） やはり対象データを抽出するといったところが、一番大きな時間がかかるところだというふうに思っております。その中でも生活保護世帯については、既に口座情報であったり振込をしている等、事実がございますので、そういった部分については、プッシュ型で速やかに支給をするということは可能だと思いますが、本会議でも部長から御説明がありましたとおり、やはりこの給付金というのを、誤って支給をしてはいけないものがございますので、正確に正しく対応してまいりたいというふうに考えているところでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 少し確認させてください。

今年の12月1日時点の住民登録っていうことですのでけれども、第1回目の振込が3月下旬ということで、12月2日以降に豊明に転入された方ってというのは、その前に住んでいた自治体で支給されるのでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この制度の趣旨からいえば、委員のおっしゃるとおりだというふうに思っております。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、生活保護世帯の方にもということで、この7万円分は、収入にはカウントされないっていうことでいいですか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） はい、これについても国からの通知によりますと、収入には計算されないということでございます。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 小中学生応援給付金事業のほうですけれども、これが初日ではなくて、この最終日に上がってきたという理由をお願いします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） コロナの関係の交付金の決定時期などもございまして、果たしてその予算確保の面でというところで、今回の時期、このタイミングになりました。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 これも後ほど財源振替の予定ってというのはお答えいただいているんですけども、単年度、今回限りという理解でよろしいですか。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 令和5年度一般会計補正予算（第10号）について、賛成の立場で討論します。

いつも住民税非課税で支給を分けられ、ぎりぎり課税される低所得の世帯には支給されていません。国の制度を待って行うのではなく、市に必要なことを考え、市独自で支援を行うようにお願いします。

小中学生の支援金は、高校生や大学生も非常にお金がかかります。広い視点で必要ところを探し支援していただくようお願いして、賛成とします。

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第96号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第96号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内ちほ議員） ありがとうございます。委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午前11時41分閉会